

令和7年度 豊田地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

ー総括表ー		
◆ 事業計画		
☐ 地域の現状と今後の方向性		
豊田地区は、栄区の中で南西の位置にあり、戸塚区と鎌倉市、一部港南区と隣接している。最寄り駅は戸塚駅・本郷台駅・大船駅となるが、多くの方がバスを利用している。高齢化率は令和5年9月末現在で29.46%（栄区30.79%）だが、最も低い長尾台町の20.18%から最も高い本郷台での40.79%と地区内でも差があり、課題もそれぞれ異なっている。本郷台では75歳以上の後期高齢化率も27.7%となっており、住民の約4人に1人以上が75歳以上となっている。 近年はコロナ禍を経て、高齢者の足腰の筋力低下や認知症の進行に関する相談が増えている。このため、ケアプラザだけではなく、それぞれの地域で「歩いて通うことができる集まりの場」が必要となっている。また、認知症の方やご家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域の中で見守り合える関係づくりも大切である。 一方、要介護認定者数は横浜市平均に比べ少なく、介護度も低い傾向にあり、元気な高齢者が多い地域であることが伺える。介護予防に力を入れ、住み慣れた地域で、いつまでもその人らしい生活ができるように支援する。 また、高齢者のみでなく、子育て支援においても、乳幼児がいる親の孤立防止のため、地域の中で繋がりがりづくりが必要。学齢期の子どもについても、地域の中で活躍できる場を用意し、子どもたちの地元愛を育みます。障害児者においては、地域の中で見守られながらその人らしく生活できるよう、より一層の啓発と交流が必要である。また高齢化により担い手不足も深刻化しており、新たな担い手発掘の取り組みを地域住民と共に実施していく。		
☐ 今年度の重点的な取組		
新規	継続	ー具体的な取組内容ー
☐	☒	<地域福祉保健計画の推進支援> ・支え合い連絡会や6つの委員会を定期的に開催し、地区別計画の推進を行う。 ・各委員会と協働し、地域課題についての検討を行う。 ・第5期計画の策定について、連合町内会自治会や地区社協、各種委員会委員等と取り組む。
☐	☒	<地域ケア会議の開催> ・個別ケースについての地域ケア会議を開催し、地域全体で課題に取り組む。 ・個別ケースから把握した課題を包括レベルケア会議、協議体等に繋ぐための機会をつくる。 ・身近な場所で集える場、住民同士の支え合いの必要性を地域住民と共有し、地域における取組みを支援する。
☐	☒	<集まる場や見守り体制づくりの支援> ・歩いて通える場所でサロンや健康体操等介護予防につながる取組みができるよう、地域活動を支援する。 ・地域にある各種集いの場において、参加者同士の見守りができるよう、啓発する。 ・支え合い連絡会や委員会、協議体等により具体的な検討を行う。
☐	☒	<民生委員や専門職との情報共有> ・各地域の民生委員の方々と、専門職との情報交換を行い、必要な情報を共有する機会を図る。 ・地域団体との専門職（ケアマネジャーを中心に）との情報を共有し連携する場を図る。
☐	☒	<子育て世代や障害児者への支援> ・子育て世代が集い、親同士がお互いの悩みや困り感を共有できる場づくりを、地域の方とともに取り組む。 ・他ケアプラザと共催で実施している障害児余暇支援事業の中で、若い世代のボランティアの協力も募り、障害への理解を広める。 ・委員会の子ども及び障害児者に関する取組みを、区や区社協と連携して支援する。
◆ 事業報告・事業実績評価		
☐ 振り返り		
支え合い連絡会や6つの委員会を定期的に開催し、地区別計画の推進を住民主体に実施できた。また第5期地域福祉計画に向けて地区懇談会を開催。多くの住民の方と地域課題について検討し、第5期地域福祉保健計画の取り組み内容に反映することができた。第4期で取り組むことができなかった防災関係については連合との連携で「豊田地区防災会議」として計画に盛り込むことができた。 ・個別ケースについての地域ケア会議を開催し、地域全体で課題に取り組む。・個別ケースから把握した課題を包括レベルケア会議を開催予定。「見守りの視点」を共有し、住民同士の支え合いの必要性の理解することで、見守り体制の構築を目指す。 ・ケアプラザで実施する「スクエアステップ」「3B体操」の他、歩いて通える場所で介護予防につながる取組みとして出前講座として「ボールウォーキング」「栄養講座」「口腔講座」など実施。介護予防の啓発となった。継続的に支えあい連絡会（健康づくり委員会）と協働で開催できたことも大きな成果と思う。 ・子育て世代が集い、親同士がお互いの悩みや困り感を共有できる場づくりとして住民の方「親子の広場ブルイベント」「パパ講座」など実施。新しい親子の交流ができ、デイサービスでの歌の発表につながった。若いパパと子どもにデイサービスの方も大喜びでした。 ・地域福祉保健計画の策定時に地域課題の1つとしてあげられている、「担い手不足」に関して「メンズカレッジ@豊田」の連続講座を開催し、新しい担い手発掘の一助とする予定。		
☐ 区からのコメント		
支え合い連絡会や各種委員会の継続的な開催により、地区別計画が住民主体で着実に推進されている点を高く評価いたします。また、第5期地域福祉保健計画策定に向けた地区懇談会において、幅広い住民の参画のもと丁寧な話し合いを重ね、地域課題を共有し、それらを計画や今後に向けての取組へ反映することができた点は大きな成果です。引き続き、丁寧な伴走支援を継続していただければと思います。また、第4期で課題であった防災分野についても、連合との連携により地区防災会議として計画に位置づけられたことは、今後に向けた重要な一歩だと感じています。 個別地域ケア会議を通じた課題の把握と、包括レベルでの検討につなげる取組は、支え合い体制の構築において重要であり、「見守りの視点」の共有が進んでいる点も評価できます。 介護予防については、地域に出向いた講座の実施や関係団体との協働により、身近な場所で継続的に取り組める体制づくりが進められている点が認められます。 また、子育て世代の交流機会の創出により、世代を超えたつながりが生まれている点も有意義であり、地域共生の具体的な取組として評価いたします。さらに、担い手不足への対応として新たな層への働きかけが様々な工夫のもと行われ、地域の状況を的確に把握した職員の皆様の様々なアイデアが着実な成果として積み上げられております。今後の担い手の発掘・育成につながることを期待いたします。		

令和7年度豊田地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	ケアプラザという公の立場を意識し、ハートページ等の資料を提示した上でサービス提供事業者を選択してもらうなど、特定の事業者や利用者への利益誘導等に陥らないよう公正中立を常に意識し、業務に努めます。	「社会福祉法人横浜市社会福祉協議会の保有する個人情報の保護に関する規程及び個人情報保護に関する方針」に基づき、全職員が統一した認識とルールによって個人情報の保護にあたるよう努めます。また、職員全員を対象にした個人情報保護に関する内部研修を実施し、意識啓発を図ります。
実績	ハートページ等を活用してサービス提供事業所を本人、ご家族に選択していただき、特定の事業所や利用者への利益誘導などにならないよう、公正中立に業務に努めました。	個人情報保護およびコンプライアンス研修を実施しました。ダブルチェックの徹底をはじめ、日頃から高い意識を持って業務に取り組み、事故防止に努めました。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	要支援1・2と認定された高齢者が日常生活において具体的な生活目標を持ちながら生活を送っていたように、利用者と家族との協働作業による介護予防プランの計画作成を行います。	利用者・家族の話をしっかり傾聴し、利用者のニーズや意向に基づいたケアマネジメントを行います。また、介護支援専門員のケアマネジメントの向上を図り、また抱えた課題を組織で解決し、解決のノウハウを蓄積します。 法令を遵守し、安定した介護報酬を確保します。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額 【その他料金】	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額 【その他料金】
職員体制	保健師等1名(常勤兼務)4 管理者・主任ケアマネジャー1名(常勤兼務)、社会福祉士1名(常勤兼務)、予防プランナー4名(非常勤専任)	管理者・介護支援専門員2名(常勤専任) 介護支援専門員1名(非常勤専任)
契約者数	387件	92件

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	介護保険で「要介護」「要支援」と認定を受けた方に、日帰りで食事・入浴・機能訓練などのサービスを提供し、ご本人やご家族の日常生活を支援します。		
実施体制	【実施日数】年間309日(休日:毎週日曜日、12/29～1/3) 【提供時間】10:15～15:20 【定員】31名(通所介護・第1号通所介護合計)	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額 【その他料金】 ■通所介護 食費負担 850円 (食事キャンセル料502円) ■第1号通所介護 食費負担 850円 (食事キャンセル料502円)	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額 【その他料金】	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額 【その他料金】
職員体制	管理者1名(常勤)、生活相談員3名(常勤)、 介護員111名(非常勤)、看護師(機能訓練指導員)4名(非常勤)、送迎運転員4名(非常勤)、調理員4名(業務委託)		
契約者数等	【延べ利用者数】7411名 【契約者数】88名	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和7年度 「豊田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	21,468,328	3,209,771	24,678,097	24,240,097	438,000	横浜市より
内 受領額	21,468,328	3,209,771	24,678,097	24,678,097	0	
内 戻入額				△ 438,000	438,000	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	56,900	△ 56,900	
雑入	70,000	0	70,000	517,106	△ 447,106	
内 印刷代	70,000		70,000	11,605	58,395	
内 自動販売機手数料			0	501,913	△ 501,913	
内 その他			0	3,588	△ 3,588	
その他	△ 101,669		△ 101,669		△ 101,669	
収入合計	21,436,657	3,209,771	24,646,428	24,814,103	△ 167,675	

支出の部

宣告

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,313,000	184,221	11,497,221	9,423,797	2,073,424	法人本部経費が含まれている
内 本俸	11,660,337	184,221	11,844,558	7,325,542	4,519,016	
内 社会保険料	547,000		547,000	724,160	△ 177,160	
内 手当計	1,538,000		1,538,000	1,265,542	272,458	
内 健康診断費	6,000		6,000	8,877	△ 2,877	
内 勤労者福祉共済掛金	6,000		6,000	6,750	△ 750	
内 退職給付引当金繰入額	0		0	92,307	△ 92,307	
内 その他			0	619	△ 619	
事務費	1,358,000	0	1,358,000	782,119	575,881	法人本部経費が含まれている
内 旅費	5,000		5,000	23,960	△ 18,960	
内 消耗品費	20,000		20,000	415,023	△ 395,023	
内 会議開い費	5,000		5,000	0	5,000	
内 印刷製本費	30,000		30,000	60,744	△ 30,744	
内 通信費	50,000		50,000	237,709	△ 187,709	
内 使用料及び賃借料	20,000	0	20,000	8,400	11,600	
内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）	20,000		20,000	8,400	11,600	
内 その他			0		0	
内 備品購入費	0		0	0	0	
内 図書購入費	0		0	0	0	
内 施設賠償責任保険	0		0	9,370	△ 9,370	
内 職員等研修費	5,000		5,000	0	5,000	
内 振込手数料	15,000		15,000	0	15,000	
内 リース料	50,000		50,000	6,000	44,000	
内 手数料	0		0	10,913	△ 10,913	
内 地域協力費			0	10,000	△ 10,000	
内 公租公課	0	0	0	0	0	
内 事業所税			0	0	0	
内 消費税			0	0	0	
内 印紙税			0	0	0	
内 その他			0		0	
その他			0		0	
事業費	264,000	0	264,000	143,451	120,549	法人本部経費が含まれている
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	2,499,850		2,499,850	143,451	2,356,399	
内 その他			0		0	
管理費	6,376,000	0	6,376,000	6,671,021	△ 295,021	法人本部経費が含まれている
内 光熱水費	2,200,000		2,200,000	3,727,817	△ 1,527,817	
内 清掃費	1,486,772		1,486,772	1,244,472	242,300	
内 機械警備費	250,000		250,000	200,375	49,625	
内 設備保全費	2,899,084	0	2,899,084	1,844,002	1,055,082	
内 空調衛生設備保守	186,000		186,000	666,219	△ 480,219	
内 消防設備保守	23,000		23,000	27,999	△ 4,999	
内 電気設備保守	370,000		370,000	489,507	△ 119,507	
内 害虫駆除清掃保守	25,445		25,445	25,445	0	
内 駐車場設備保全費	0		0	0	0	
内 その他保全費	2,294,639		2,294,639	634,832	1,659,807	自動ドア、エレベーター、文書廃棄、
内 共益費			0	0	0	
内 その他			0	70,525	△ 70,525	
修繕費	474,000	2,749,550	3,223,550	3,223,550	0	予算：指定額
太陽光パネル保守点検	219,450		219,450	219,450	0	
太陽光パネル修繕（追加）			0		0	
その他	0	276,000	276,000	0	276,000	
内 物価スライド追加分		276,000	276,000		276,000	
支出合計	20,004,450	3,209,771	23,214,221	20,463,388	2,750,833	
差引	1,432,207	0	1,432,207	4,350,715	△ 2,918,508	

自主事業費 収入	30,000	0	30,000	16,400	13,600
自主事業費 支出	300,000	0	300,000	143,451	156,549
自主事業 収支	△ 270,000	0	△ 270,000	△ 127,051	△ 142,949

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	20,000	0	20,000	501,913	△ 481,913	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	20,000	0	20,000	8,400	11,600	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	493,513	△ 493,513	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度「豊田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	31,667,813	1,655,960	33,323,773	26,968,789	6,354,984	横浜市より
内 受領額	31,667,813	1,655,960	33,323,773	33,323,773	0	
内 戻入額				△ 6,354,984	6,354,984	
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	200,000		200,000	200,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	6,187,717	164,819	6,352,536	6,352,536	0	横浜市より
内 受領額	6,187,717	164,819	6,352,536	6,352,536	0	
内 戻入額				0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	10,000		10,000	4,000	6,000	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	10,000		10,000	6,500	3,500	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	10,000		10,000	0	10,000	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	10,000		10,000	30,000	△ 20,000	
雑入	0	0	0	△ 53,520	53,520	
内 印刷代	0	0	0	△ 53,520	53,520	実習受け入れなど
内 自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
内 その他	0	0	0	0	0	
その他	6,940,735		6,940,735		6,940,735	
収入合計	45,190,265	1,820,779	47,011,044	33,662,305	13,348,739	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	40,072,515	1,525,779	41,598,294	20,735,076	20,863,218	法人本部経費が含まれる
内 本俸	29,337,515	1,525,779	30,863,294	11,234,900	19,628,394	
内 社会保険料	3,000,000		3,000,000	5,827,667	△ 2,827,667	
内 手当計	7,000,000		7,000,000	2,838,719	4,161,281	
内 健康診断費	100,000		100,000	14,066	85,934	
内 勤労者福祉共済掛金	30,000		30,000	16,250	13,750	
内 退職給付引当金繰入額	600,000		600,000	801,618	△ 201,618	
内 その他	5,000		5,000	1,856	3,144	
事務費	250,000	0	250,000	531,431	△ 281,431	法人本部経費が含まれている
内 旅費	35,000		35,000	10,766	24,234	
内 消耗品費	20,000		20,000	58,689	△ 38,689	
内 会議随い費	20,000		20,000	0	20,000	
内 印刷製本費	20,000		20,000	3,838	16,162	
内 通信費	50,000		50,000	226,478	△ 176,478	
内 使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
内 その他	0		0	0	0	
内 備品購入費	50,000		50,000	0	50,000	
内 図書購入費	0		0	0	0	
内 施設賠償責任保険	20,000		20,000	0	20,000	
内 職員等研修費	10,000		10,000	0	10,000	
内 振込手数料	5,000		5,000	0	5,000	
内 リース料	20,000		20,000	231,660	△ 211,660	
内 手数料	0		0	0	0	
内 地域協力費	0		0	0	0	
内 公租公課	0	0	0	0	0	
内 事業所税	0		0	0	0	
内 消費税	0		0	0	0	
内 印紙税	0		0	0	0	
内 その他	0		0	0	0	
内 その他	0		0	0	0	
事業費	2,985,750	0	2,985,750	910,219	2,075,531	法人本部経費が含まれている
内 協力医	630,000		630,000	483,000	147,000	予算：指定額630000
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	1,781,750		1,781,750	23,500	1,758,250	
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	160,500	△ 6,500	
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	200,000		200,000	218,031	△ 18,031	
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	220,000		220,000	25,188	194,812	
内 その他			0		0	
管理費	1,716,000	0	1,716,000	1,757,390	△ 41,390	法人本部経費が含まれている
内 光熱水費	1,000,000		1,000,000	869,723	130,277	
内 清掃費	395,217		395,217	330,808	64,409	
内 機械警備費	63,916		63,916	53,263	10,653	
内 設備保全費	256,867	0	256,867	484,850	△ 227,983	
内 空調衛生設備保守	29,168		29,168	177,094	△ 147,926	
内 消防設備保守	8,000		8,000	7,440	560	
内 電気設備保守	30,000		30,000	124,804	△ 94,804	
内 害虫駆除清掃保守	7,000		7,000	6,763	237	
内 駐車場設備保全費	0		0		0	
内 その他保全費	182,699		182,699	168,749	13,950	自動ドア、エレベーター、文書廃棄、
内 共益費			0		0	
内 その他			0	18,746	△ 18,746	
修繕費	126,000		126,000	126,000	0	予算：指定額126000
その他	0	295,000	295,000	0	295,000	法人本部経費が含まれている
内 物価スライド追加分		295,000	295,000		295,000	
支出合計	45,150,265	1,820,779	46,971,044	24,060,116	22,910,928	
差引	40,000	0	40,000	9,602,189	△ 9,562,189	

自主事業費 収入	40,000	0	40,000	40,500	△ 500
自主事業費 支出	2,355,750	0	2,355,750	427,219	1,928,531
自主事業 収支	△ 2,315,750	0	△ 2,315,750	△ 386,719	△ 1,929,031

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書＜介護保険事業分＞

令和7年4月1日～ 令和8年3月31日

(単位:千円)

施設名:豊田地域ケアプラザ

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入			0	13,000	22,186	-9,186	15,900	15,986	-86	74,200	66,843	7,357			0
	その他	0	0	0	13,000	0	13,000	0	0	0	80	0	80	0	0	0
	事業・負担金収入			0	13,000		13,000	0		0	80		80			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	収入合計(A)	0	0	0	26,000	22,186	3,814	15,900	15,986	-86	74,280	66,843	7,437	0	0	0
支出	人件費			0	9,200	8,102	1,098	12,650	15,619	-2,969	49,200	47,142	2,058			0
	事務費			0	120	110	10	410	356	54	8,400	8,510	-110			0
	事業費			0	16,400	11,627	4,773	370	329	41	24,900	27,248	-2,348			0
	管理費			0	0		0	0	0	0	8,500	0	2,600			0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	160	0	160	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0	0		0	160		160			0
	消費税			0			0	0		0	0		0			0
	介護予防プラン委託料			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	支出合計(B)	0	0	0	25,720	19,839	5,881	13,430	16,304	-2,874	91,160	82,900	2,360	0	0	0
	収支 (A)－(B)	0	0	0	280	2,347	-2,067	2,470	-318	2,788	-16,880	-16,057	5,077	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和7年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業			■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業		1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）				7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン 実施回数	延べ参加人数	うちオンライン 参加人数
1	子育てティーサロン	平成28年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	子育て中の保護者同士の交流、子育てに関する相談へのアドバイスを行う。	4：子ども・青少年		ボランティアグループ「まつぼっくりの会」が当日の進行を行い、ケアプラザが運営を行う。また、地域の保育園、他のボランティアグループの協力を得て、育児講座、手遊び、人形劇公演等を行う。	22	0	216	0
2	ご近所茶話会	平成28年度	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	地域の高齢者を対象としたサロン事業で、健康維持のための体操、レクリエーションを行う。	1：高齢者		頭・手先を使ったレクリエーション、体を使ったレクリエーションなどを交互に取り入れ、楽しさを提供する。また、抹茶と和菓子を食しながら、おしゃべりの場を楽しむ。個人ボランティアが企画・運営にも携わっている。	11	0	132	0
3	介護者のつどい	平成29年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	介護者の負担感を軽減するため	5：地域		介護をしている人、介護に興味がある人を対象としてお話をしたり、お茶ソムリエによるお茶会、短時間DSの運動指導員によるストレッチ体操をおこなった。偶数月の第4木曜日に実施	5	0	46	0
4	特殊詐欺の手口の一例	令和7年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	特殊詐欺の予防	5：地域		特殊詐欺の手口の一例を飯島郵便局長より紹介してもらい被害の予防をはかります	1	0	11	0
5	AIAIAIの会	平成28年度	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	認知症予防の普及啓発事業を身近な地域で参加してもらうこと、広げることを目的に町内会館で実施する。	1：高齢者		飯島町に限らず、どなたでも参加可能な認知症予防の普及啓発事業。手遊び、しりとり、座談などを通じて社会参加の場を作る。今年度より自主化し、ケアプラザは後方支援をしていく。	10	0	131	0
6	豊田スクエアステップ	平成28年度	4：共催（1と2）	2：発展させるねらい	高齢者の転倒予防、介護予防、認知症予防の効果を推進する。	1：高齢者		ストレッチや全身の体操をした上で専用のマットを利用して、ステップパターンを覚えて、間違わないように前に進む足踏みエクササイズを実施します。	19	0	430	0
7	口腔フレイル予防講座(健口体操)	令和7年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	ケアプラザに通う事の出来ない地域住民に対し、オーラルフレイルの大切さを学んで頂くため、歯科衛生士を招き講義を行う	1：高齢者		誤嚥性肺炎予防の取り組みとして歯磨き、うがいの必要性の説明や、口腔体操の実践をした。口腔フレイルが低栄養、フレイルに影響する事も歯科衛生士より説明した。8/22実施	1	0	22	0

■ 事業	■ 事業の性質	■ 主な対象者、従たる対象者
1：地域活動交流事業 3：生活支援体制整備事業 6：共催（2と3）	2：地域包括支援センター運営事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業
2：地域包括支援センター運営事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	1：高齢者 4：子ども・青少年 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン実施回数	延べ参加人数	うちオンライン参加人数
8	口腔フレイル予防講座(フェイスエクササイズ)	令和7年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザに通う事の出来ない地域住民に対し、オーラルフレイルの大切さを学んで頂くため、美容の視点も取り入れながらフェイスエクササイズを行う。	1:高齢者		9/12開催。資生堂ジャパンより講師を招き、口腔フレイル予防のためのフェイスエクササイズを実施。スキンケアの過程で口周りのフェイスマッサージも行う	1	0	14	0
9	サロン連絡会	平成28年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	地域で開催しているサロン活動の担い手が、情報交換を通してサロンで活用できる知識を得ること、団体の垣根を越えてつながり、必要な際に助け合える関係性を構築する。	1:高齢者		今回は情報交換に加えて見守りネットワーク委員会のメンバーも参加し、見守りチェックシートの紹介や見守りについて話す時間も設けて、各サロンでの見守りの一助になるよう呼びかけた。	1	0	20	0
10	みどり野ハイツ自治会口腔講座	令和7年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザに通う事の出来ない地域住民に対し、オーラルフレイルの大切さを学んで頂く為、誤嚥性肺炎予防の講義を行う。	1:高齢者		10/2開催。誤嚥性肺炎予防のためのエクササイズや誤嚥予防の食形態など、包括看護師より講義した。	1	0	9	0
11	骨・カルシウムセミナー	令和7年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者の転倒では骨折のリスクが高く、骨折は骨粗鬆症による骨の脆弱化が基礎にあると言われている為、骨の材料となるカルシウムセミナーを実施	1:高齢者		10/17開催。雪印メグミルク職員より講師を招き、骨を強くする食事、運動、日光浴の必要性を講義した。カルシウム摂取の自己チェックも行った。	1	0	26	0
12	60代からのゆたかな食事	令和7年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢になると、様々な要因により食欲不振から体重が減少し低栄養状態となることが多い。低栄養はフレイルを招く重要な因子であり、介護予防の観点からも栄養を見直すことは重要であるため、講座を実施	1:高齢者		11/21開催。地域のクリニックの管理栄養士を講師に招き、栄養素の説明や栄養バランスの整え方を講義。メニューを紹介し、栄区ヘルスメイトの協力で調理を行い試食をした。	1	0	18	0
13	いつまでも自分の足で歩き続ける為のウォーキング講座	令和7年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	豊田エリアでは交通の便が悪い地域やエレベーターの無い集合住宅も多く、地域で生活してゆく為には自分の足で歩き、ADLを維持する必要がある。また、住民同士で活動する事によりコミュニケーションの場作りも行う	1:高齢者		10/9,11/13,12/11,1/8,2/12,3/12実施。健康運動指導士を講師に招き6回連続で行う。(途中2回はメンバーのみ)ウォーキングの必要性、関節痛予防のための正しい歩き方を教わる。メンバーのみで実施する際の進め方も学ぶ。	6	0	48	0
14	メンズカレッジ@豊田	令和7年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	新たな担い手を見つけることが困難な状況が続いているため「地域の新たな人材発掘」を狙いイベントを企画。地域活動を行っていない男性をターゲットとして仲間を作り、今後の活動に携わる機会を促す。	5:地域		12/024、1/14、2/13それぞれ男性が地域と関わるキッカケを作れる講師を招き連続3回講座を実施。講座後、参加者が「自分たちの健康のためと地域の誰かのため」の団体にしていく。	3	0	30	0

■ 事業	■ 事業の性質	■ 主な対象者、従たる対象者
1：地域活動交流事業 3：生活支援体制整備事業 6：共催（2と3）	1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	1：高齢者 4：子ども・青少年 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン 実施回数	延べ参加人数	うちオンライン 参加人数
15	にこりんく共催ふれあい遊び	令和7年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	「子育て支援拠点にこりんく」が豊田CPへ出張します。距離が遠いこともあり行く機会が無いため、お家では出来ない遊びをおもいきり親子で遊んで発散してもらうことと仲間作り交流の居場所作りをすること。	4：子ども・青少年		6/5、11/20年2回実施。足型製作とふれあい遊び、音楽で遊ぶことを実施。お家では出来ない内容が人気です。この機会がちょっとした相談や困りごとを話せる場になっています。	2	0	42	0
16	飯島保育園共催保育士と遊ぶ	令和7年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	保育園で子どもたちと行っている遊びを保育士さんと一緒に行うことで、地域で孤立せず子育てができる環境作り。保育士さんと気軽に相談できる窓口であることを広く周知する。	4：子ども・青少年		保育園で子どもたちと行っている遊びを保育士さんと一緒に行うことで、地域で孤立せず子育てができる環境作り。保育士さんと気軽に相談できる窓口であることを広く周知する。	2	0	20	0
17	余暇支援イベント	令和7年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	障がいのある小・中学生の余暇を親子時間にする。学校以外の場や人とのかわりを持つことで障がい理解を広めること。	2：障害児・者		7/6ダンス12/21折り紙アート それぞれ講師から親子ともに体験をする。放課後デイサービスのない日曜日を設定。	2	0	32	0
18	父親講座3回連続	令和7年度	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	「子育て初めの一歩&体を使った遊び」、「絵本の読み聞かせ&仕事と育児の両立」、「夫婦のパートナーシップ&イライラしない講座」を3回連続で行うことで地域の父親の居場所、交流をすることで子育てを応援する。	5：地域		8/30、9/6、9/20全日本育児普及協会より講師を派遣してもらい豊田地区に必要な内容を実施。	3	0	18	0